

静岡市都市山麓グリーンベルトの大内モデル地区で 地元小学生のための門松づくり教室を開催しました

県と協働で土砂災害を防ぐ里山づくりの活動をしている特定非営利活動法人「森と水辺を育てる会」が、地元の「高部少年教室」の小学生（4～6年）と保護者を対象に、グリーンベルト整備区域で伐採した竹を利用して伝統的な門松づくりを体験し、楽しみながら土砂災害に強い里山づくりへの理解を深めました。

1 開催日時

平成27年12月27日（日）9：00～10：30

2 場所

静岡市都市山麓グリーンベルト区域内の清水大内モデル地区
（杉谷津沢下の作業小屋）

3 主催者

特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』

4 参加者

「高部少年教室」の小学生（清水高部小及び清水高部東小の4～6年生）約40名
と保護者

5 内容

グリーンベルト整備区域で伐採した竹を利用した門松づくり

6 静岡市都市山麓グリーンベルトの概要

静岡市内で366箇所の土砂災害危険箇所が集中する賤機山から興津川までの12kmに及ぶ市街地北側山麓域を、都市山麓グリーンベルト区域として平成13年度より整備を行っております。このうち竹林の拡大が著しい清水区大内地区をモデル地区に指定し、静岡県と締結した協定により特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』が樹林帯の整備を行うことにより、土砂災害の防止、無秩序な市街化防止、都市景観の保全・創出を目指しています。

7 門松づくり教室の様子

